

平成27年の新年です。共に日本人としての誇りを取り戻して参りましょう。

天皇陛下が12月23日、81歳の誕生日を迎えられました。宮内記者会見で、戦後70年となるのを前に、先の戦争で300万人を超える人々が犠牲になったことを踏まえ、「その人々の死を無にすることがないように、常により良い日本をつくる努力を続けることが、残された私どもの義務であり、後に来る時代への責任である」との考えを示されました。

また、父である昭和天皇から学んだことについて「人のことを常に考えることと、人に言われたからするのではなく、自分で責任を持って事に当たるということ」と述べられました。

いかがでしょうか？

ここに、我々日本人の、心の拠り所・心構え・根本的理念・立脚点が明確に示されていると存じます。まして、我々は、小とはいえ社長・経営者・リーダーです。

#### “より良い日本をつくる努力を続けること”

我々を含め、日本には、300万余の中小企業があります。その300万社が、日本の各地で「一隅を照らす」ことでしょう。

具体的には、赤字企業は黒字会社へ転換することです。現実には、70%の中小企業が赤字です。これでは、より良い日本をつくることはできません。今年こそ、何としても黒字企業へ転換していくこと。

黒字会社は、現状に満足することなく、更に大きく黒字を出して行くこと。それが、企業を預る者の責任であり、喜びでもあるはずです。

#### “人のことを常に考え、自己責任で事に当たる”

まさに、社長に課せられた役目そのものです。社員のこと、お客様のこと、地域のことを最優先し、自分を後回しにすること。喜んで自己犠牲を払うこと。

皇室は125代に亘り、綿々と続いてきたのです。平安の時代も、戦国時代も、江戸時代も、明治も昭和も、一度として途切れることなく。有り得ない奇跡です。

これ以上の世界に誇れる精神文化があるでしょうか。

世界には王（女王）は、イギリス・オランダ・ベルギー等いくつかあります。

日本は、王ではありません、皇（すめらぎ）です。格が違うのです。

天皇陛下の、有り難いお言葉を深く心に刻み、平成27年を、夢に向かって努力して参りましょう。日本人としての誇りと自信を取り戻しましょう。



今月のポイント

みいつ  
御稜威に沿って生きる。